

# “スポーツと文化がつながる新しい市民の交流拠点” (仮称) 彦根市新市民体育センター実施設計 [ 概要 ]

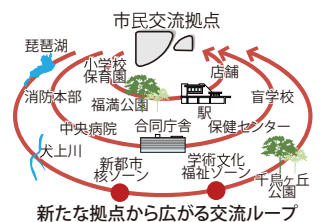


## ①計画のコンセプト

### 計画地の特性

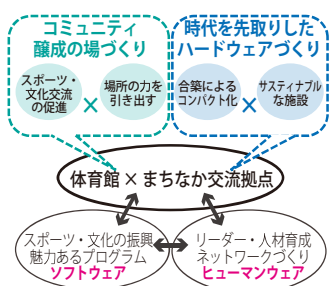
#### ①まちとつながり、育み、回遊性を高める場

・(仮称) 彦根市新市民体育センターは、南彦根駅から近く、公園や学校や病院、庁舎、消防とも近接する。新たなまちづくりの拠点となることから広域的なまちづくりを意識し、まちの回遊性を取り込み、一体性を高める場とする。



#### ②合築のメリットを最大化するコミュニティ醸成の場づくり

・基本方針で、体育館に求められてきた快適な競技環境づくりに加えて、「コミュニティ醸成の場づくり」、「時代を先取りしたハードウェアづくり」を重視した計画とする。  
スポーツ活動と文化活動のソフトウェアが、人材育成のヒューマンウェアにつながり交流のサイクルが生まれる、交流の核となる場づくりを行う。



#### ③多様な空間を「ひとつ」に

・スポーツ機能とまちなか交流拠点機能が、まちと密接につながりながら、ひととまとまりになることを目指し、まちづくりの新たな交流拠点を目指す。

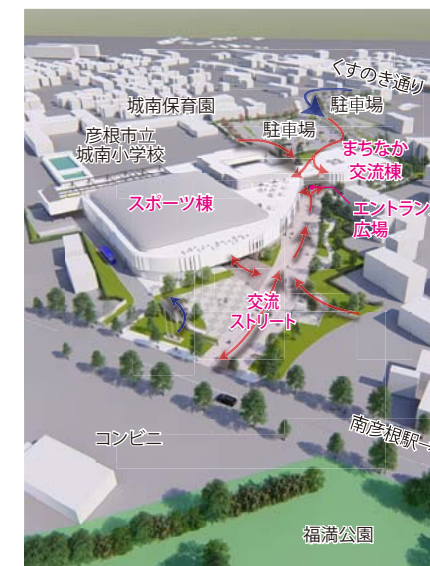
### 建物のコンセプト

#### ■気軽に立ち寄れる・市民交流のきっかけとなる「交流ストリート」

・敷地中央を南北に通る「交流ストリート」を設け、まちの回遊性を取り込んだ計画とし、通りに面してトレーニング室やダンス室、コミュニティスペース（スポーツラウンジやまちなか交流ラウンジ）を配置し、スポーツから文化活動まで様々な活動が垣間見え、市民が気軽に立ち寄り、関心を誘発する計画とする。

#### ■スポーツと文化が融合する市民交流拠点

・スポーツ機能とまちなか交流拠点機能をひとまとめとすることで、多様な世代のニーズに対応し、賑わいと交流を生み出す計画とする。適度な距離感を持った構成により、それぞれの単独利用も柔軟に対応できる。市民利用を重視した施設計画とする。



## ②建築概要

建物規模：地上3階 鉄筋コンクリート造 鉄骨造

各階床面積					
	スポーツ棟	弓道場	共有	まちなか交流棟	合計
3階	0	763.63	0	0	763.63
2階	1,967.65	311.88	474.59	1,266.58	4,020.70
1階	6,689.64	0	335.40	1,278.07	8,303.11
合計	8657.29	1075.51	809.99	2544.65	13087.44

※建築基準法上の床面積に算入される屋外スペース:688.57㎡・・・建築基準法上の延床面積:13,776.01㎡

建築面積	
	9,992.67

※今後行政協議により面積が変更する可能性があります。

### 主な機能一覧

#### <スポーツ機能>

メインアリーナ、サブアリーナ、器具庫、トレーニング室、ダンス室、スポーツラウンジ、事務室、託児室、授乳室、清掃員室、選手更衣室、一般利用者更衣室、男女トイレ、障害者用トイレ、医務室、役員室、大会本部控室、放送室、遠の場（控室、射場、ギャラリー、矢取道他）、近的場（控室、射場、ギャラリー、矢取道他）、機械室、外部倉庫、防災備蓄倉庫、倉庫 他

#### <まちなか交流拠点機能>

多目的ホール（ホール、ステージ、倉庫、控室）、まちなか交流ラウンジ、図書・学習ラウンジ、男女トイレ、倉庫、機械室、会議室1・2・3、教養文化室、多目的会議室、喫茶コーナー、相談室、他



### ③配置・動線計画基本方針

- ・近隣住民の日常動線となる通り抜け通路（交流ストリート）を整備する。
- ・交流ストリートは歩行者専用とし、歩車分離を徹底する。
- ・駐車場は、南側に18台、北側中央に249台、北西側に136台設置する。
- ・駐車場へのアクセスは、南側駐車場へは南側の道路から、北側中央と北西側の駐車場へはくすのき通りからの出入りとする。
- ・イベント時、緊急時、搬出入時には、車はスポーツ棟と校庭の間を南北に通り抜けて利用できるようにする。
- ・交流ストリートを中心とする外構部分は、夜間も通り抜ける公園と連続する遊歩道として整備し、周辺から視線が通り抜ける形状にするとともに、外灯計画を行い、安心安全な空間づくりを目指す。
- ・敷地全体を最大限有効活用し、死角の少ない目の行き届きやすい計画とする。



<配置ゾーニング図>



- 車動線
- 自転車動線
- 歩行者動線

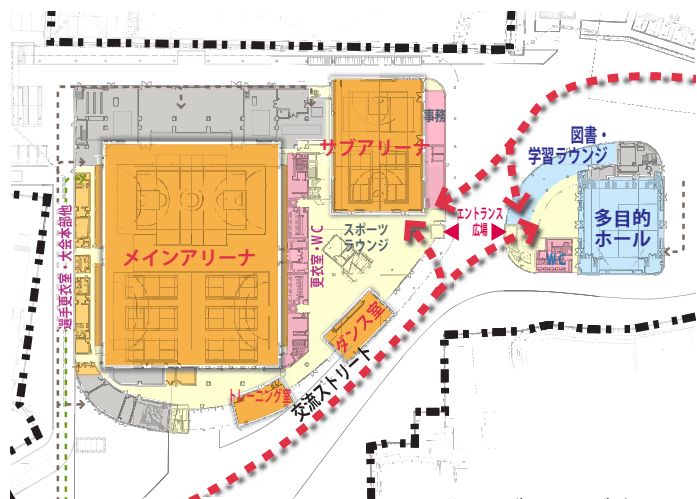
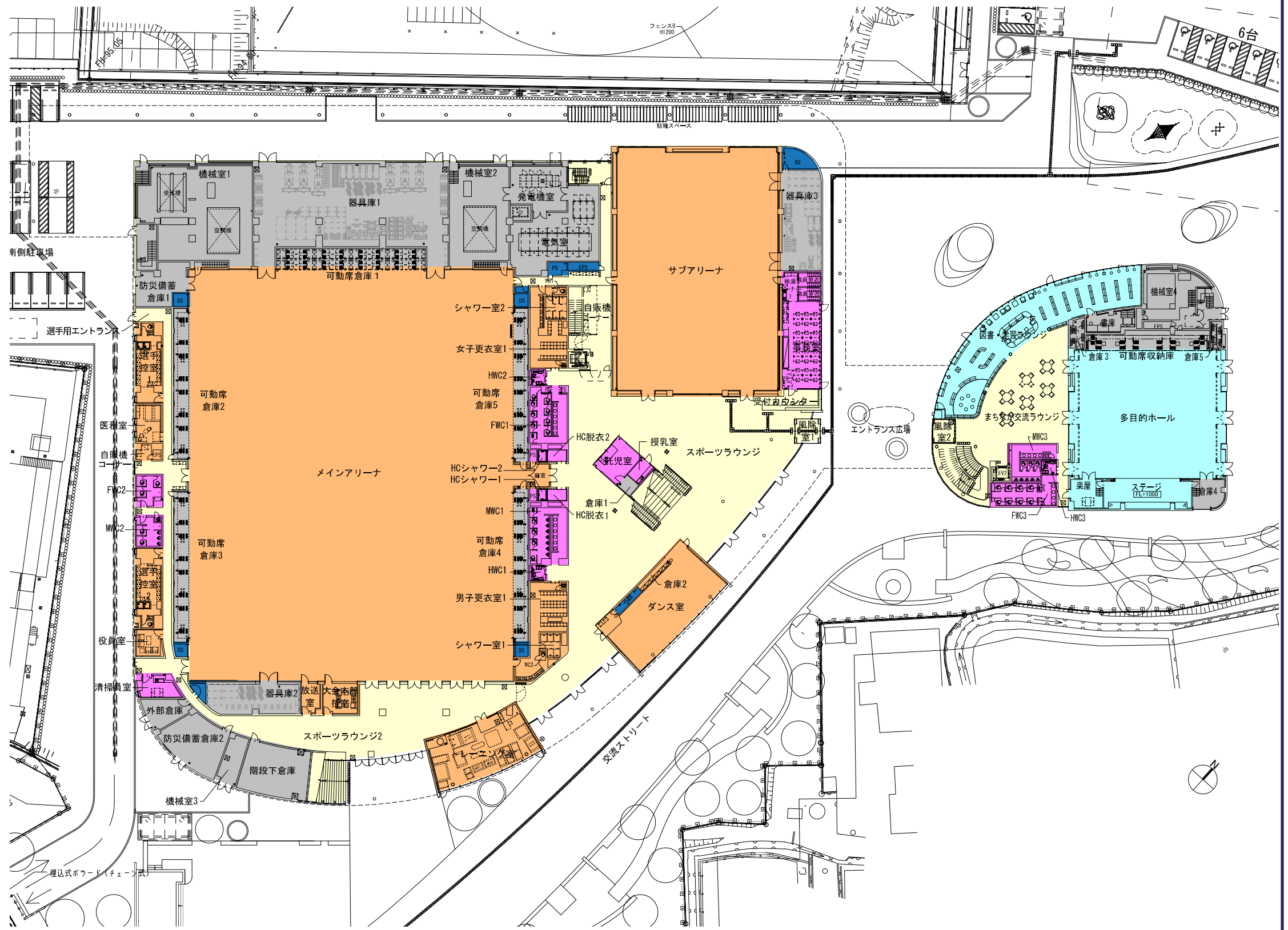


#### ④平面計画の基本方針

- ・使いやすい、管理しやすい事務機能とする。
- ・大会やイベント時の明快な動線分離ができる計画とする。
- ・まちなか交流拠点機能を単独利用しやすい計画とする。
- ・スポーツと文化をつなぐ計画とする。
- ・必要諸室を共有し、コンパクトなボリューム計画とする。
- ・交流ストリートに対して、賑わいを発信する計画とする。
- ・弓道場（近的・遠的）は、大会活用できる計画とする。
- ・屋上を効果的に活用する計画とする。

#### ■1階平面計画

- ・1階にはメインアリーナ、サブアリーナ、トレーニング室、ダンス室、更衣室、選手控室、多目的ホール、図書・学習ラウンジ等を配置する。
- ・メインアリーナは、スポーツラウンジや交流ストリートからアクセスでき、選手用の動線と交差しない位置に配置する。
- ・事務室は施設中央に設け、施設内外へ目が行き届きやすい計画とする。
- ・ダンス室、トレーニング室はスポーツラウンジからアクセスでき、交流ストリートに面する位置に配置することで、賑わいを発信する計画とする。
- ・多目的ホールはまちなか交流ラウンジからアクセスすることができ、スポーツ棟での興行等から独立した利用が可能とする。
- ・図書・学習ラウンジはまちなか交流ラウンジから利用することができ、交流ストリートに面した位置に設けることで、賑わいを発信する計画とする。



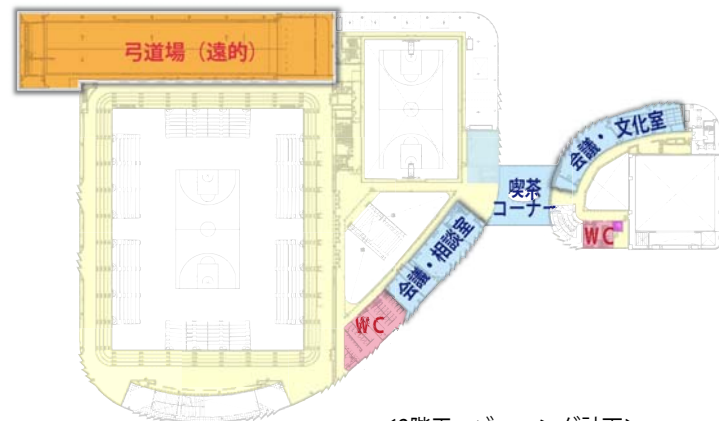
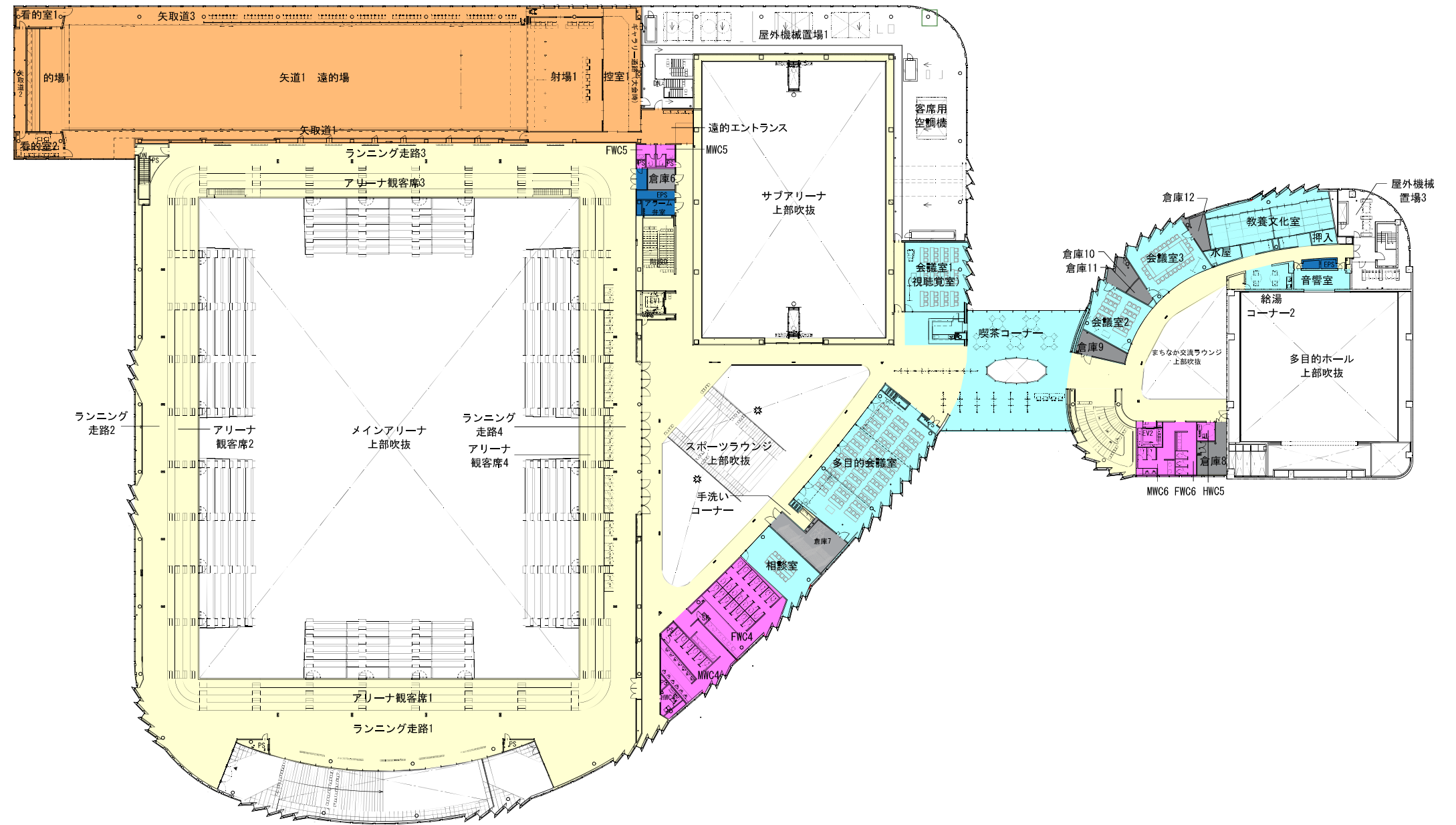
<1階平面ゾーニング計画>

凡例

- /スポーツ関連諸室
- /まちなか交流諸室
- /管理諸室
- /共用部・廊下
- /倉庫・機械室

## ■2階平面計画

- ・2階には、アリーナ観客席、弓道場（遠的）、多目的会議室、会議室、教養文化室、相談室等を配置する。
- ・スポーツ棟とまちなか交流棟をつなぐ通路に喫茶コーナーを設け、互いに共有できるコミュニケーションラウンジとなるような計画とする。
- ・会議室を交流ストリートに面した中央に集約することで、地域に対して賑わいを発信する計画とするとともに、会議室を共有し、必要諸室を最小限とすることで、コンパクトなボリューム計画とする。
- ・WCは共用部分に配置し、大会時は共用廊下を経由して利用する計画とする。
- ・遠的場（遠的）は、建物北側に配置し、中央階段等からアクセスすることが可能な計画とする。
- ・多目的会議室は喫茶コーナーと隣接し、一体利用が可能な計画とする。



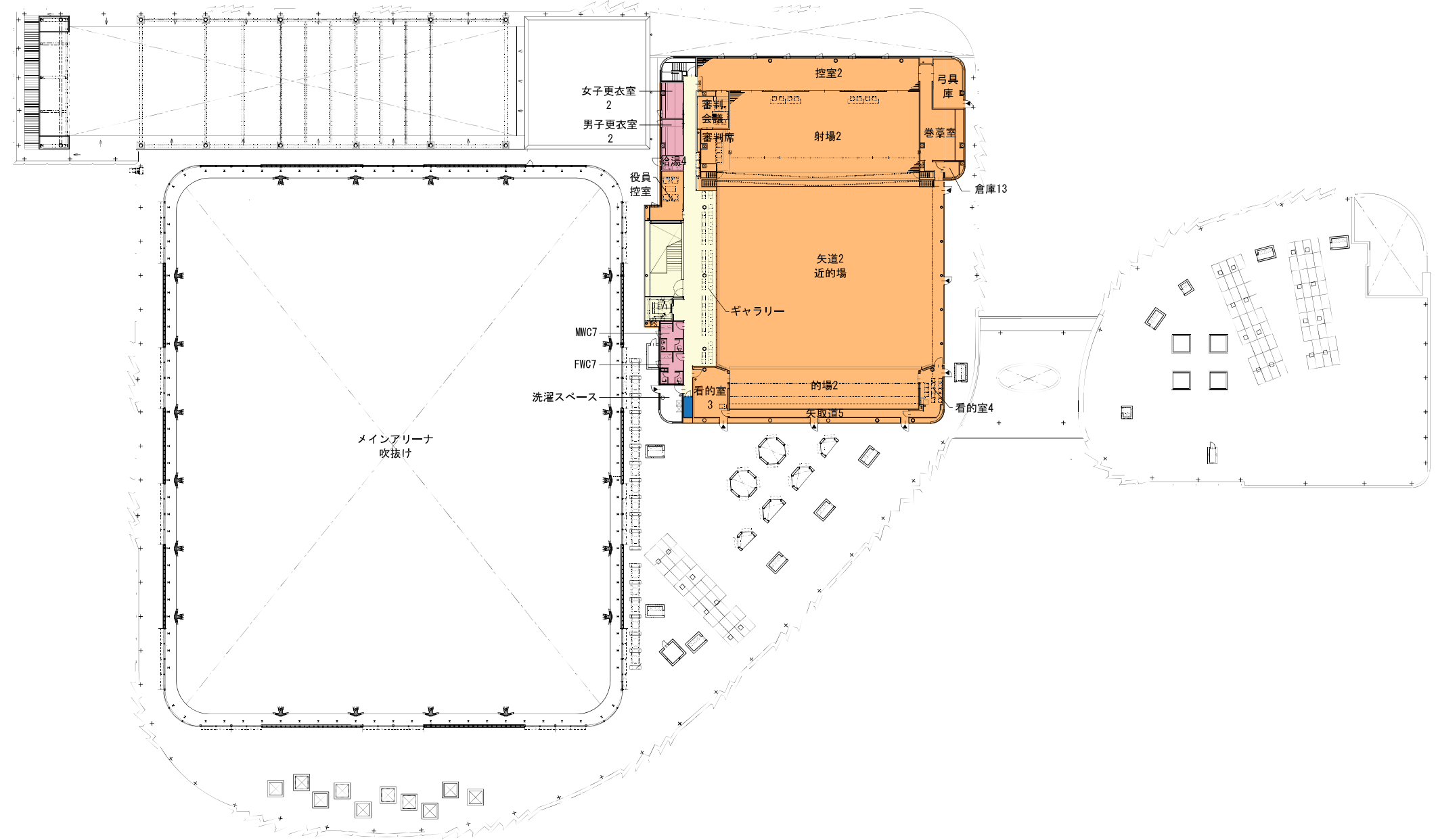
<2階平 ゾーニング計画>

凡例

- / スポーツ関連諸室
- / まちなか交流諸室
- / 管理諸室
- / 共用部・廊下
- / 倉庫・機械室

### ■3階平面計画

- ・3階には弓道場（近的）、ギャラリーを配置する。
- ・専用の更衣室、役員室、WCを設け、独立した機能を確保する。
- ・屋上には、太陽光発電設備置場や、屋外機械置場を確保する。



凡例

- / スポーツ関連諸室
- / まちなか交流諸室
- / 管理諸室
- / 共用部・廊下
- / 倉庫・機械室

施設諸元

NO	機能	階	種別	諸室・面積		特記事項
				部屋名	面積(m <sup>2</sup> )	
1	スポーツ (スポーツ棟)	1階	競技	メインアリーナ (45m×57m)	2,621	・天井高：12.5m以上 ※コートエンド部で規定の高さを確保
2				サブアリーナ (22m×33m)	806	・天井高：7.9m ※梁の下端
3			競技控室	器具庫1・2	398	・外部出し入れ可能
4				器具庫3	80	
5				選手控室1	43	
6				選手控室2	43	
7				役員室	16	
8				大会本部室	23	
9				放送室	14	
10				医務室	21	
11			管理諸室	事務室・受付	76	・館内窓口：ハイ&ローのオープンカウンター
12				給湯室		
13				清掃員室	19	
14			WC・ 更衣室	女子WC1	43	・子供用便所有
15				男子WC1	43	・子供用便所有
16				多目的WC	12	・2箇所
17				女性更衣室	46	・障害者用更衣室、シャワー室有
18				男性更衣室	54	・障害者用更衣室、シャワー室有
19	(スポーツ棟)	1階	健康・ その他	託児室	23	
20				授乳室	7	・託児室に隣接して配置
21				ダンス室	141	
22				トレーニング室	102	
23		倉庫	備蓄倉庫・倉庫	120		
24		その他	スポーツラウンジ			
25			エレベーター		・13人乗り 1基(1階～3階)、ストレッチャー対応型	
26	まちなか 交流拠点 (まちなか交流棟)	1階	ホール	多目的ホール (20m×17m)	445 (ステージ含む)	・天井高：7.5m ・最大着座席：410席 ・可動席：234席
27			その他	図書・学習ラウンジ	232	・蔵書 約15,000冊
28				男子WC	28	
29				女子WC	30	
30				多目的WC	5	・1箇所
31				まちなか交流ラウンジ	231	
32	エレベーター		・13人乗り 1基(1階～2階)			

NO	機能	階	種別	諸室・面積		特記事項
				部屋名	面積(m <sup>2</sup> )	
33	(スポーツ棟)	2階	競技	メインアリーナ観客席	1,794	・固定席数：1,546席 ・可動席数：1,176席 ・車いす席：30席 合計2,752席
34				遠的場/控室/矢取道他	1,257	・遠的3人立2射場
35			WC	女子WC2	74	
36				男子WC2	56	
37				多目的WC		・1箇所
38	(まちなか交流棟、 まちなか交流拠点 スポーツ棟)	2階	会議室・ 研修室等	多目的会議室	153	・部屋の分割：3室に分割可 ※可動パーティション
39				会議室1	70 (倉庫含む)	
40				会議室2	64	
41				会議室3	53 (倉庫含む)	
42				教養文化室	90	・32畳の和室
43				その他	相談室	44
44			音響室		17	
45			男子WC		20	
46			女子WC		17	
47					喫茶コーナー	273
48	(スポーツ棟)	3階	競技	近的場/控室/観客席他	1,479	・近的10人立 ・ギャラリー
49				WC・ 更衣室	女子WC4	11
50			男子WC4		10	
51			弓道男子更衣室		11	
52			弓道女子更衣室	12		
53	外部			交流ストリート		・防災の観点にも対応したオープンスペースの整備 ・福満公園につながる遊歩道整備 ・安心安全な空間づくり(視線が通り抜ける形状、外灯計画)
54				駐車場		・駐車台数 403台

※各諸室の面積は、行政協議等により変更となる場合があります。



# 防災拠点機能について

災害時の避難施設として位置付けるとともに、物資の配送拠点とするなど、防災の拠点施設として必要な機能を整備する。

## 指定緊急避難場所および指定避難所の指定

災害時に身を守るため、一時的に避難する「指定緊急避難場所」として、施設内へは約1,900人、外部の駐車場を合わせて約3,000人の受け入れを想定している。

また、自宅等に被害を受けた方が、一定期間、避難生活を送る「指定避難所」としてメインアリーナを利用し、約1,100人の受け入れを想定している。

## 外部からの支援物資需給エリア

### 防災備蓄倉庫

### 自家発電室

### 物資配送拠点

### 物資配送拠点

サブアリーナを物資の配送拠点として位置付け、支援物資等の受け入れおよび市内各避難所への配送拠点として活用する。

## 非常用発電設備および太陽光発電設備

インフラ被災時の対策として、非常用発電設備は72時間稼働できる長期型を配備するとともに、太陽光発電設備を整備し電力を供給する。

### 救護・災害対策室

### 情報取得

### マンホールトイレ

### かまどベンチ

### 炊き出し広場



